

■景域に含まれる支庁及び市町村

日高支庁 日高町・平取町・門別町・新冠町・静内町・三石町・浦河町・様似町・えりも町
 上川支庁 南富良野町・占冠村
 胆振支庁 鶴川町・穂別町・厚真町

■景域を構成する景観ゾーン

45日高太平洋沿岸湾岸景観ゾーン 46勇払平野東部田園景観ゾーン 47日高北部自然景観ゾーン

■景域における現況

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等)
場所的要因 位置 地形 植生	○海岸部は東西に長く暖流の影響から雪も少なく温暖である ○山間部は内陸性気候で寒さが厳しい ○日高山脈から太平洋沿岸へ向かって下がる大づかみな地形 ○日高山脈の山地を源流部とする数本の河川の流域地形がヒゲ状の景観をつくっている ○日高山脈の山地には道内有数の原生的自然が残されている	○勇払原野及び鶴川流域部には、水田の広がりや丘陵地の牧場の広がりが見られる	○河川流域の河口平坦地に発展した市街地 ○山間部の河川流域沿いに点在する農村集落は、山里的風景をつくり出している		
空間構成的要因 広がり 土地利用 まとまり	○日高海岸部は、段丘の発達した海岸線や砂丘の連なる海岸線が見られる	○門別、静内、新冠などの内陸部では、流域沿いの平地や丘陵地に競走馬の育成を中心とした牧場が見られる	○海岸沿いの高台から市街地を見おろすことができる ○海岸部の国道235号・336号を軸として、海岸段丘の高台と河口にある市街地が点在する	○静内には、桜で有名な二十間道路がある ○広域的な観光ルートとして国道235号を軸とした沿道景観を形成しつつある	
人文的社会的背景 産業経済 生活文化	○アポイ岳は地域のシンボルとなっている		○国道沿いにある静内、えりも、浦河は景観的に取り組みの中で中心市街地を新しい街並みに変えた		○日本の競走馬の約7割を生産する地域であり、牧場やその他関連施設などが、産業景観を形成している ○えりも岬周辺では、海のための森づくりが行われている
時間的歴史的背景 歴史性 季節 時間	○春に残雪の、秋には冠雪した日高山脈の山並みを見ることが出来る	○静内の御料牧場周辺は特有の景観をつくっている	○平取にはアイヌの人々の歴史とともに義経伝説の名残が見られる		○沙流川沿いと海岸沿いには、先住民アイヌの人々のコタンやチャシ跡が点在 ○海岸沿いの漁村集落に見られる昆布干しの風景 ○鶴川周辺で見られるシシャモ干しの風景
典型的景観資源	○日高山脈襟裳国定公園(日高山脈・アポイ岳・襟裳岬) ○沙流川 ○鶴川 ○静内川 ○新冠川 ○三石海岸	○サラブレットの牧場(新冠のサラブレット銀座など)	○海岸沿いの高台から見おろされる市街地のシルエット ○海岸線沿いの漁業集落 ○山間の流域沿いに点在する農村集落	○桜並木のある二十間道路 ○広域軸としての役割を果たす沿道・沿線 ・国道235号 ・JR日高本線	○海岸線沿いに見られる昆布干し・シシャモ干しの風景 ○アイヌコタン・チャシ跡・平取二風谷

■景域の景観特性・課題・景観づくりの取り組み方向

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等)
景 域 の 景 観 特 性	○地域の背骨となっている日高山脈とそこから太平洋に流下する幾筋もの平行した河川群がつくる櫛の歯状の山・河・海一体構造	○河川沿いの低地および丘陵地に展開するサラブレッド産地ののびやかな放牧地、草地、畜舎の風景	○大半のまちは海岸部の河口平野に中心市街地を形成し、幹線国道一本でつながる地域構造 ○まちの入口、中心、出口を意識させられる市街地構成	○海岸線から奥まった脇街道は、馬産地の心臓部を貫通し日高地域のもち味を楽しませる	○昆布干しやシシャモ干しなどの地域産業風景が見られる
景観づくり の 課 題	○自然海岸の維持、海岸眺望の保全と景観を阻害しない眺望拠点の整備 ○原生自然林の保全、里山・人工林の適切な育成・維持・管理・森林を生かした野外レクリエーション・リゾート地の適切な整備	○牧場景観整備(施設のデザイン、周辺環境の整備、植栽等)	○広域幹線道路沿いに繰り返し表れる、高台から見下ろされる河口市街地のシルエット景観の形成 ○海岸沿いの漁村集落の修景	○日高のシンボルでもある競走馬牧場の連続する沿道景観の演出(サインの統一、視点場の確保) ○海岸河口部市街地から、内陸部へ向かう山間流域景観の形成 ○土木構造物(ダム・橋梁・護岸等)と周辺環境への調和、河畔林や河川生態系の保全、川沿いの山間集落景観の修景	○地域産業の生産施設周辺環境の整備・修景
景観づくり の 取 り 組 み 方 向	○日高沿岸の自然海岸の維持のため山間流域の生態系や森林を育み、保つ	○日高海岸に向かう多くの河川流域に広がる馬の牧場において農家施設や周辺環境をととのえる	○海岸を貫く幹線道路国道235号で結ばれたまちにおいて、高台から遠望として望まれる街並みのシルエットに配慮した市街地景観整備を行う	○太平洋と日高山脈をつなぐ沙流川、鶴川、静内川など河川流域で結ばれた地域の連携した景観づくりをすすめる ○海岸線より一段奥まったまきば地区を平行して貫通する街道を整備し、新しい風景を鑑賞する沿道景観づくりをすすめる	○日高海岸で見られる昆布干しなど生活に根ざした景観を共通のテーマとして、小さな漁村集落をめぐるマリンツーリズムに取り組む景観づくりをすすめる